お知らせコーナー

平成26年度決算

市では、皆さんが納めた税金をはじめ、国・県の補助金や借入金などを基に行政運営を行っています。平成26年度に市がどれだけの費用をどのように使ったかを、市の決算としてお知らせします。

一般会計の決算

平成26年度の一般会計決算は、歳入（収入）が184億4、530万円（市の貯金である財政調整基金の取り崩し4億3、163万円を含む）、歳出（支出）が176億8、385万円でした。

差し引きは7億6、145万円の黒字でしたが、この中には国の補正予算による事業採択などの理由により平成26年度で完了しなかったため、平成27年度に繰り越して引き続き実施する事業などに使う財源1億7、672万円が含まれています。

これを差し引いた実質的な平成26年度の収支は、5億8、473万円の黒字となります。

歳入・歳出の内訳は下の円グラフのとおりです。

※表中の数値は万円未満単位を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないところがあります。

◆歳入（諸収入が減少）

ごみ処理施設や印西斎場などを運営する「印西地区環境整備事業組合」へ市から支払う負担金の一部については、千葉県などからの負担金歳入の対象となっていましたが、平成25年度で対象となる負担金支出が終了したことにより、平成26年度は諸収入が7億8、096万円（60・9％）減少し、歳入全体では3億7、529万円（2・0％）減少しました。

なお、市の歳入の約5割を占める市税については企業の業績回復の影響などにより、平成25年度に比べて2、743万円（0・3％）増加しました。

◆歳出（衛生費が減少）

歳出では、子育て世帯臨時特例給付金や臨時福祉給付金の実施などにより民生費が4億2、951万円（8・6％）、小学校の大規模修繕や増築工事の実施などにより教育費が4億238万円（16・0％）平成25年度に比べて増加しました。

一方、印西地区環境整備事業組合への負担金が減少したことにより、衛生費全体で平成25年度に比べて7億8、126万円（32・8％）減少し、歳出全体では1億9、728万円（1・1％）減少しました。

健全化判断比率・資金不足比率の状況

財政の早期健全化の必要性を判断するための「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成26年度決算による財政状況を示す健全化判断比率を算出したところ、全ての指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）において、財政健全化計画を定める必要がある早期健全化基準を下回りました。

公営企業の経営状況の悪化の度合いを示す資金不足比率については、対象となる市の公営企業（下水道事業、水道事業）に資金不足が生じなかったため、数値の算定がされませんでした。

市の財政状況と公営企業の経営状況はともに健全であることを示していますが、今後も健全な財政運営に努めていきます。

平成26年度に実施した主な事業・事業費

小学校施設改修等事業　児童が活動しやすい安全な教育環境を整備するため、第一小学校校舎改修工事や第三小学校増築工事などを実施・10億9、644万円

公共施設保全管理事業　公共施設の効率的な保全と計画的な営繕を図るため、西白井複合センター大規模修繕工事や文化センター防災設備改修工事などを実施・2億3、915万円

子ども医療費助成事業　子どもの保健対策の充実および保護者の経済的負担の軽減を図るため小学校6年生までの通院および中学生までの入院にかかる医療費を助成・2億410万円

市道新設改良事業　安全で円滑な道路交通を確保するため、幹線市道整備や一般市道拡幅等の改良を実施・1億4、099万円

感染症予防事業　感染症の蔓延予防のため乳幼児や児童への定期予防接種の実施や、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用を助成・1億821万円

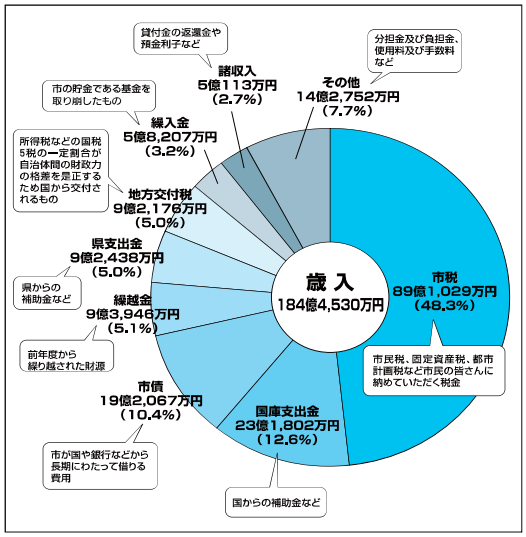
雨水排水施設整備事業　都市環境の向上を図るため雨水排水整備工事や、工事のための実施設計を実施・5、286万円

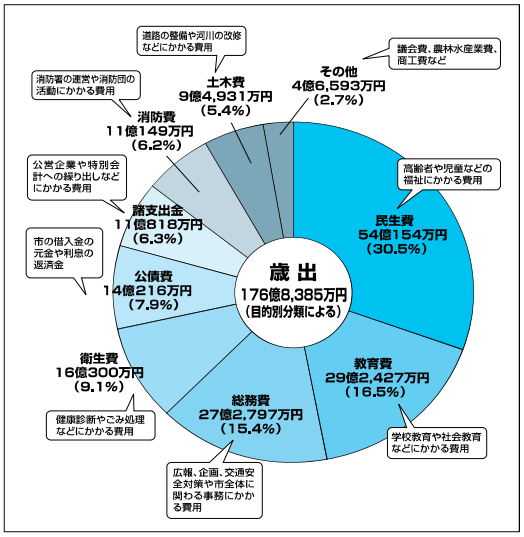
市役所庁舎整備事業　市役所庁舎の備えるべき機能の仕様などを確定するため、基本設計を実施・4、396万円

橋梁維持事業　橋梁の通行の安全性確保および修繕・架け替え費用の縮減と平準化を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市内の橋の定期点検や修繕工事を実施・4、033万円

※このほかの主要事業の成果は、市ホームページで公表しています。

問 財政課財政班　内線333、1・2





市の財産

土地		1,063,190平方メートル
建物		149,847平方メートル
車輌		50台
有価証券		2,576万円
債権		損害賠償金2,363万2千円およびこれに対する平成23年2月26日から支払い済みまでの年5分の割合による額
出資による権利		4億1,346万2千円
基金	現金	38億1,164万7千円
	債権	112万円
	土地	42,912平方メートル

地方債の残高

地方債は、将来にわたって市民が利用する道路や公共施設の建設などの費用を、現在の市民だけでなく将来の市民にも負担してもらうことが公平である場合に、地方債の借り入れについて県の同意を得た後に国などから借り入れる市の借金のことです。

平成26年度末の地方債残高は右表のとおりです。

地方債の残高

区分	地方債残高	市民1人あたり
総務債	93億9,880万円	149,624円
民生債	4億7,127万円	7,503円
衛生債	3億6,829万円	5,863円
農林水産業債	40万円	6円
土木債	3億3,638万円	5,355円
消防債	702万円	112円
教育債	36億7,781万円	58,549円
下水道事業債（特別会計）	24億2,698万円	38,636円
水道事業債（特別会計）	4億6,310万円	7,372円
合計	171億5,005万円	273,020円

※平成27年3月31日現在の住民基本台帳人口62,816人で計算しています。

一般会計以外の決算について

平成26年度の特別会計および企業会計の決算は、下表のとおりです。

特別会計

会計名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	65億3,814万円	62億2,889万円	3億926万円
介護保険	27億6,608万円	26億8,284万円	8,325万円
後期高齢者医療	4億5,260万円	4億5,058万円	203万円
下水道事業	10億3,759万円	9億3,423万円	1億336万円
学校給食共同調理場事業	5億2,733万円	5億2,046万円	687万円

※下水道事業は翌年度へ繰り越して実施する事業に使う財源10万円を含みます。

企業会計

事業名		歳入	歳出	差し引き
水道事業	収益的収支	5億2,408万円	4億6,736万円	5,672万円
	資本的収支	5,626万円	7,993万円	△2,367万円

※表中の「△」はマイナスを表します。資本的収支の不足額は留保資金などから補てんしました。

納付を忘れずに

25日㈮は次の市税などの納期限です。

●固定資産税・都市計画税（3期分）

●国民健康保険税（6期分）

●介護保険料（6期分）

●後期高齢者医療保険料（6期分）

市税などは納期限内に納付しましょう（納期限を過ぎると延滞金が掛かります）。

市税などの納付は、口座振替を利用すると便利です。また市税など（後期高齢者医療保険料を除く）は、納期限内であればコンビニエンスストアでも納付することができます。

問 収税課収税班　内線312、1～5

所得申告用「国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の納付額」のお知らせについて

市では「平成27年中に納めた国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料のお知らせ」を平成28年1月下旬にはがきで送付します。この通知には平成27年1月～12月末までに納付した金額が記載されています。

年金から特別徴収されている人は、平成28年1月下旬に送付予定の公的年金等の源泉徴収票に記載されています。

※年末調整を行う人は、各課窓口で随時発行しますので申し出てください。

問 **国民健康保険税・後期高齢者医療保険料**　保険年金課保険税班　内線317～3、**介護保険料**　高齢者福祉課介護保険班　内線533～5

お詫びと訂正　広報11月15日号表紙でお知らせしました「市の防犯活動に貢献」に関する記事で全国防犯協会連合会会長表彰「防犯栄誉銅章」受賞者の名前に誤りがありました。正しくは「武田良昭」さんです。お詫びして訂正いたします。

お知らせ　広報11月15日号8ページでお知らせしました「白井駅前センターフェスティバル」は2月27日㈯、28㈰に変更となりました。